

技術ノート KGTN 2015110202

現象

[GGH4.X-5.X] GGEasyMonitorConnectionCheck とはどんなツールなのか？

説明

設定ファイルまたはコマンドラインで指定した GG サーバーに対して、GG のプロトコルで接続を行い、最大セッション数と現在のセッション数を得るプログラムです。このプログラムが作成された背景は、ログオン中のセッションは正常に動作しているにも関わらず、新規にログオン出来ない（ログオン処理が完了しない）現象が発生し、それを検出することを目的としたものです。

設定ファイルと起動パラメタ

設定ファイル GGEasyMonitorConnectionCheck.ini の default セクションで、以下のパラメタを設定して下さい。なお、拡張パックのライセンスが無い場合は、項目 `rxpAddr` の値に関わりなく GG サーバーの IP アドレスとして 127.0.0.1 が設定されます（つまり外部の GG サーバーの監視は出来ません）。

| 設定項目 | 説明 |
|----------|------------------------------|
| logLevel | ログの出力レベル、通常は1を指定し、障害時は4を指定 |
| logd | ログファイルを作成するフォルダ（省略可） |
| licFile | 拡張パックのライセンスファイルのパス（省略可） |
| rxpAddr | GGサーバーのIPアドレス（既定値は127.0.0.1） |
| rxpPort | GGサーバーのAPSのポート番号（既定値は491） |
| timeout | タイムアウトの秒数（既定値は30） |

GG サーバーのアドレスおよびポート番号は、起動パラメタでも指定することが出来ます。

| 設定項目 | 説明 |
|----------|-------------------|
| -rxpAddr | GGサーバーのIPアドレス |
| -rxpPort | GGサーバーのAPSのポート番号 |
| -timeout | タイムアウトの秒数（1～3600） |

プログラムの戻り値

プログラムの戻り値で、状況およびセッション数の情報を知ることが出来ます。

| 戻り値 | 説明 |
|--------|---------------------------|
| 101 | 接続出来ない（接続処理に失敗） |
| 102 | 接続出来ない（タイムアウト） |
| 201 | アカウントの認証に失敗 |
| 202 | ログオン処理でタイムアウト |
| 999 | 内部エラー |
| 1000以上 | 最大セッション数×1000 + 現在のセッション数 |

標準出力

標準出力には 0 (正常) または 1 (異常) が出力されますので, この出力を取り込むことで **Zabbix** 等でのサーバー監視が可能となります.

Last reviewed: Nov 11, 2015

Status: DRAFT

Ref: NONE

Copyright © 2015 kitASP Corporation